

2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 エブレン株式会社
 コード番号 6599 URL <https://ebrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 上村 正人
 (氏名) 田中 猛
 TEL 042-646-7171

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	829		65		68		45	
2020年3月期第1四半期								

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 43百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	33.43	
2020年3月期第1四半期		

(注) 1. 2020年度3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の数値及び2021年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,462		3,287			73.7
2020年3月期	4,197		3,087			73.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 3,287百万円 2020年3月期 3,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		15.00	15.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,656		164		150		98		68.44
通期	3,374	6.0	337	19.1	314	3.5	207	3.3	140.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年度3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年3月期第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,536,000 株	2020年3月期	1,536,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	27,000 株	2020年3月期	169,900 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,370,811 株	2020年3月期1Q	株

(注) 2020年度3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、中国では景気は引き続き厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きもみられましたが、米国では急速な景気の悪化が続いております。各国で経済活動の再開が段階的に進められましたが、欧州では景気が持ち直す動きを見込みにくい状況にあることや、米国や南米ブラジルにおける新型コロナウイルスの感染拡大も歯止めがかかりにくい状況が継続していることから、先行きに対する不透明感が強まっております。

我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言発令を機に、休業要請、外出自粛要請が本格化し、企業の景況感の悪化とともに、個人支出の急減を招き、景気が悪化しております。

このような状況下、当社グループにおける営業品目の応用分野別の概況は、電気計測器分野以外は、新型コロナウイルスの影響により微減しましたが、当社の主力である電気計測器分野における半導体製造装置市場は、新型コロナウイルスの影響もなく、大手半導体メーカーの次世代プロセス関連の設備投資が好調に推移しており、予算及び前期比共に大幅増となり、売上、経常利益が増加しました。また、報道にあるように一部の半導体メーカーは、中国の通信メーカーからの受注を停止した影響により、今後、生産が調整される可能性もありますが、韓国を中心としたメモリー向けの半導体製造装置の設備投資が本格化するため、影響は軽微と想定しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高829百万円、営業利益65百万円、経常利益68百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は45百万円となりました。

当社グループは、産業用電子機器及び工業用コンピュータの製造・販売を行っているものであり、セグメントは単一であります。したがって、セグメントごとに経営成績の状況は開示しておりません。

なお、営業品目の応用分野別売上の概況は、次のとおりであります。

通信機器

当分野は、放送・通信・電力関連機器の制御部を開発・製造・販売しております。緊急事態宣言により、設置工事ができず、一部の顧客で第2四半期以降に納入が延期されました。その結果、売上高は91百万円となり、売上構成比率は11.1%となりました。

電子応用装置

当分野は、HPC、医療関連機器の制御部を開発・製造・販売しております。緊急事態宣言により、一部の顧客で工場が稼働停止となり、第2四半期以降に納入が延期されました。その結果、売上高は75百万円となり、売上構成比率は9.1%となりました。

電気計測器

当分野は、当社の主力である半導体関連装置・検査装置・FA関連装置の制御部を開発・製造・販売しております。前第4四半期連結会計期間より半導体製造装置への設備投資の再開による増加が継続しています。その結果、売上高は491百万円となり、売上構成比率は59.2%となりました。

交通関連装置

当分野は、鉄道・信号・ITS（ETC等）関連の制御部を開発・製造・販売しております。ITS（ETC）関連が、緊急事態宣言により、入札や設置工事の延期となりました。その結果、売上高は147百万円となり、売上構成比率は17.7%となりました。

防衛・その他

当分野は、防衛用のレーダーや通信機器の制御部を開発・製造・販売しており、売上高は23百万円、売上構成比率は2.9%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて264百万円増加し、4,462百万円となりました。各区分の主な増減要因は以下のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて255百万円増加し、3,193百万円となりました。増加要因としては、2020年6月29日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）への上場により、公募による自己株式の処分の手取額177百万円の入金等があり、現金及び預金が196百万円増加しました。また、受取手形及び売掛金68百万円、仕掛品46百万円、原材料及び貯蔵品40百万円の増加であります。減少要因としては、電子記録債権47百万円、製品37百万円の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、9百万円増加し1,268百万円となりました。増加要因としては、繰延税金資産等の増加による投資その他の資産の11百万円の増加であります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて64百万円増加し、1,174百万円となりました。増加要因としては、支払手形及び買掛金85百万円、その他（未払費用）49百万円の増加であります。減少要因としては、賞与引当金29百万円、未払法人税等21百万円、その他（未払消費税等）17百万円、短期借入金16百万円、長期借入金9百万円の減少であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて200百万円増加し、3,287百万円となりました。増加要因としては、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）上場時の自己株式処分に伴う自己株式の減少136百万円、資本剰余金の増加40百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益45百万円であります。減少要因としては、配当金20百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.2%上昇し、73.7%になりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が当社グループの業績に影響を及ぼす可能性はありますが、現時点の状況から2020年6月29日の「東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、新型コロナウイルスの感染拡大が当社グループの業績に重大な影響を及ぼす事象が確認された場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,292,927	1,489,762
受取手形及び売掛金	593,528	661,757
電子記録債権	253,484	205,650
商品及び製品	165,276	128,013
仕掛品	162,942	208,984
原材料及び貯蔵品	414,559	455,290
その他	56,058	44,390
貸倒引当金	△569	△563
流動資産合計	2,938,207	3,193,285
固定資産		
有形固定資産		
土地	711,239	711,239
その他(純額)	180,584	179,083
有形固定資産合計	891,824	890,322
無形固定資産	8,524	7,790
投資その他の資産	359,042	370,807
固定資産合計	1,259,391	1,268,920
資産合計	4,197,598	4,462,205

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	470,016	555,105
短期借入金	16,000	—
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払法人税等	56,844	34,882
賞与引当金	43,713	14,267
受注損失引当金	1,317	6,888
その他	98,761	146,775
流動負債合計	726,650	797,915
固定負債		
長期借入金	50,015	40,016
役員退職慰労引当金	186,523	188,780
退職給付に係る負債	147,384	148,282
固定負債合計	383,922	377,079
負債合計	1,110,572	1,174,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,010	143,010
資本剰余金	96,257	136,999
利益剰余金	2,991,143	3,016,482
自己株式	△162,574	△25,835
株主資本合計	3,067,835	3,270,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,739	2,660
為替換算調整勘定	17,450	13,894
その他の包括利益累計額合計	19,190	16,554
純資産合計	3,087,025	3,287,211
負債純資産合計	4,197,598	4,462,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	829,670
売上原価	662,059
売上総利益	167,611
販売費及び一般管理費	101,875
営業利益	65,736
営業外収益	
受取利息	36
受取配当金	15
為替差益	1,452
助成金収入	2,486
保険解約返戻金	2,284
その他	319
営業外収益合計	6,594
営業外費用	
支払利息	109
株式公開費用	3,489
営業外費用合計	3,598
経常利益	68,732
税金等調整前四半期純利益	68,732
法人税、住民税及び事業税	32,108
法人税等調整額	△9,206
法人税等合計	22,901
四半期純利益	45,830
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,830

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	45,830
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	920
為替換算調整勘定	△3,556
その他の包括利益合計	△2,635
四半期包括利益	43,195
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	43,195

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2020年6月29日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場いたしました。上場に当たり、2020年6月28日を払込期日とする公募による自己株式の処分を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が40,742千円増加、自己株式が136,739千円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が136,999千円、自己株式が△25,835千円となっております。